



No.1140  
1月号

2019  
January

# 丘の大地

JAびえい・広報誌

新年  
特集号

19 おいしい ごはんで げんきよく  
あけましておめでとう!



元気いっぱい未来の誓い

美瑛町立美沢へき地保育所のみなさん



代表理事専務

## 浦島 規生

当JAとしましては、乳牛の乳房炎リスクを鑑み、発電機による酪農家の支援をはじめ、各種選別・貯蔵施設のいち早い復旧に向け、役員一丸と

あためて衷心よりお見舞いを申し上げます。

被害に遭われた組合員の皆様には、



代表理事組合長

## 熊谷 留夫

舞われました。

さらに、9月6日に発生した北海道

胆振東部地震により、尊い命が失われ、また農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域の停電、「ブラックアウト」の発生により、組合員の営

農やJAグループ北海道や関係団体の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じました。

被害に遭われた組合員の皆様には、



## 年頭の ごあいさつ

# 創立70年を節目に

# 協同の理念を再確認

組合員の皆様方には、ご健勝で輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

さて、平成30年の営農は、春先は気温も高く、平年よりも2日早い融雪となり、春の農作業は比較的順調に進みました。しかしながら、その後の6月

には雨が多く、夜温も低下したため、低温障害が発生しました。7月3日から4日にかけて、上川管内は大雨が襲い、当JAにおいても農地に土砂が流入・流出したほか、ビニールハウスや牛舎が冠水するなどの被害があり、8月上旬には猛暑、下旬からは低温に見

なっております。

分となったものの高値で推移。てん菜については、反収5.4ト、平均糖度17.1%となりました。

青果物では、主要品目のアスパラガスが大きく減収。トマト・ブロッコリー・ほうれん草も減収したものの、価格が高値で推移したこともあり、大きな減収には繋がりませんでした。

畜産関係では、比較的安定した乳量の確保により、ほぼ計画に近い水準となりました。肉豚は計画を下回る生産量でしたが、価格がカバーし計画比96%となりました。

天候不順、震災と自然の猛威を受けた一年ではありましたが、美瑛農業の底力を再認識すると同時に、組合員皆様のご努力に、心から敬意と感謝を申し上げます。

一方、農業を取り巻く環境では、貿易協定の早期発効をめざしており、TPP11が年末に発効、また、日米物品貿易協定(TAG)交渉の開始と、米

国政府が我が国の農林水産品について、過去の経済連携協定で約束した市場アクセスの譲許内容が最大限であるとして、日本政府の立場を尊重することなどが合意され、依然としてその進展状況や合意内容、農業経営への影響などが生産現場に伝わっていないなど、将来への不安や、担い手の生産意欲の減

少なっております。

少なっております。

少なっております。

少なっております。



## 謹んで新春のお喜びを申し上げます

- ◆代表理事組合長 熊谷 留夫
- ◆代表理事専務 浦島 規生
- ◆常務理事 (学識経験者) 渡辺 和也
- ◆理事 (総務委員長・農家経済対策特別委員) 藤田 元弘
- ◆理事 (業務委員長・農家経済対策特別委員) 真田 佳則
- ◆理事 (総務副委員長・農家経済対策特別委員) 米田 浩幸
- ◆理事 (業務副委員長・農家経済対策特別委員) 江花 秀一
- ◆理事 (農家経済対策特別委員長・総務委員) 村上 聡和
- ◆理事 (農家経済対策特別副委員長・業務委員) 吉井 鉄也
- ◆理事 (総務委員) 櫻井 盛明
- ◆理事 (総務委員) 下司 和広
- ◆理事 (業務委員) 山田 剛
- ◆理事 (業務委員) 青嶋 秀雄
- ◆理事 (学識経験者 / 信用担当) 中村 紀之
- ◆代表監事 山本 英之
- ◆常勤監事 (員外監事) 吉尾 豊
- ◆監事 太田 満
- ◆監事 福田 弘行
- ◆監事 谷口 学
- ◆監事 外職員一同

退が懸念されています。あらためて、農業・農協の位置づけ、さらには役割の重要性について、「国民生活全体に大きく影響する交渉である」ということを、広く訴え、理解を喚起する活動を粘り強く展開していくことが重要です。

JAグループ北海道は、3年前の第28回大会で決議された「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向け、取り組みを進めてきました。加えて、第29回大会では、継承しつつ、「協同組合の価値と実践」を加え、「農業所得20%増大」や「サポーター550万人づくり」を着実に実践していくとしています。

北海道は、国民理解へ向けての情報発信、JAの経営基盤を強化し、組合員の不安を払しょく、持続可能な北海道農業の確立をめざすこととしています。このような中で、当JAの平成31年度の事業計画では、地域農業振興計画（第10次中期5カ年）の1年目となり、健全なJA基盤の確立や、販売事業の強化推進と農業所得向上をめざし、美瑛ブランドのさらなる確立と重点作物の振興対策を進め、人づくりでは継続して担い手の育成と女性の活躍支援に取り組みます。

「農業所得増大」の実現に向けては、美瑛選果を中心にこれまで作り上げた美瑛ブランドを柱に、収益性の高いBtoB（JA対企業）での販売拡大、きめ細やかなBtoC（JA対消費者）体制の構築を、連携企業とともに取り

組みます。「担い手確保・育成」に向けては、平成29年度から始まったタスマニア農業研修で昨年11月から1か月間3人の若者が現地で研修に励みました。また、昨年12月には美瑛町農業担い手研修センター「美進」も完成し、町内で新規就農をめざす人たちが実践的な研修を受ける環境が整いました。車両整備業務においては、作業効率化をめざし、老朽化したオートサービスタワーを11月に新設致しました。これにより、大型車両の検査も目前で行うことが可能となり、組合員各位の利便性が向上すると考えております。また、昨年は美瑛町農協の創立70周年でありました。新たな時代の構築に向け、農家組合員と地域住民の拠りどころとして、身近でより信頼されるJ

Aをめざして参ります。町行政をはじめ、各関係機関・組合員各位のご指導とご協力を切にお願い申し上げます。結びになりますが、今年の干支は己亥（つちのとい）であり、「無病息災」や「安定した状態を待たす準備期間」の意味があるとされています。今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦勞が報われる実り多い豊穡の一年となりますよう、併せて、美瑛農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。



1/9 新年交礼会



1/23  
タスマニア研修報告会



2/7  
青年部定期総会



2/14  
麦作生産部会定期総会



3/6・7  
第63回地区懇談会



# トピックス

## JAこの1年

### TOPICS of year

平成30年は、美瑛農協創立70周年であり、元号の節目ともなる大切な年でした。春作業は順調に進んだものの、6月の低温や7月の長雨、8月の猛暑、9月の地震・停電と、自然の厳しさを改めて実感させられました。しかしながら、厳しい状況下でこそ、かねてから取り組んできた美瑛米や美瑛牛乳をはじめとしたオール美瑛の付加価値づくりを、

りが活きてきます。H28年の台風で被害を受けた穀類乾燥調製施設復旧工事の終了や馬鈴薯受入選別施設の増強など、農産物の受入体制が整いました。美瑛ブランドを裏付ける、しっかりとした生産・加工体制を整えるとともに、新元号時代のグローバル社会に向けた土台となる、平成最後の収穫を迎えたJA事業の一年間を振り返ります。

### 〜厳しい環境下で

### 活きる付加価値づくり〜

## 2018年の動き

〜事業活動を振り返って〜

### ●1月

- 仕事始め 9日
- 豊稷・安全祈願祭 9日
- 新年交礼会 9日
- 五穀豊稷祈願祭・新春懇談会 12日
- 美瑛養豚会家族交流会 12日
- トマト生産部会定期総会 16日
- 豆作生産部会冬季研修会 23日
- タスマニア研修報告会 23日
- 年金友の会湯治 25日
- 営農技術研修会 30日

### ●2月

- JAびえい杯ゲートボール大会 5日
- 女性部定期総会 6日
- 青年部定期総会 7日
- 種子馬鈴薯生産組合定期総会 7日
- 豆作生産部会定期総会 8日
- フレッシュミセス会定期総会 9日
- 稲作生産部会定期総会 13日
- 麦作生産部会定期総会 14日
- 馬鈴薯生産部会定期評議員会 15日
- アスパラ生産部会定期総会 19日
- 長葱生産部会定期総会 21日
- 美瑛町農業機械協議会定期総会 21日
- ニンジン生産部会定期総会 22日
- 大根生産部会定期総会 23日
- 美瑛の雪上絵フェスティバル 24日
- メロン生産部会定期総会 28日



3/9  
 穀類乾燥調製施設  
 復旧工事完成修祓式



3/20  
 農協創立 70 周年記念式典



4/5 第 67 回通常総代会



4/17 タスマニア南瓜試食会



5/30 絹(どん)帳お披露目式



5/8 新農業人激励のつどい



6/23 報徳社山林整備



6/20 馬鈴薯生産部会フィールドデイ



6/1 獣魂祭

●3月

- 第63回地区懇談会 6日~7日
- 穀類乾燥調製施設復旧工事完成修祓式 9日
- 百合根生産部会定期総会 9日
- 青年部・Fミセス会合同リーダー研修会 13日
- 酪農婦人部定期総会 14日
- 農協創立70周年記念式典 20日
- 新農業人研修了証書授与式 27日
- 長期農業研修了証書授与式 27日

●4月

- 朝会／新規採用辞令交付 2日
- 第67回通常総代会 5日
- 年金友の会総会 11日
- タスマニア南瓜試食会 17日
- 酪農ヘルパー利用組合定期総会 30日
- 乳牛検定組合定期総会 30日

●5月

- 新規採用者農業実習 7~11日
- 新農業人激励のつどい 8日
- JAびえい食品(株)設立総会 25日
- JAびえい販売(株)主総会 25日
- 美瑛アグリサポート(株)主総会 25日
- 絹帳お披露目式 30日

●6月

- 獣魂祭 1日
- 美瑛ヘルシーマラソン2018 10日
- とまと生産部会消流懇談会 19日
- 馬鈴薯生産部会フィールドデイ 20日
- 報徳社山林整備 23日



7/13 組織活動交流会



7/9 穀類乾燥施設安全祈願祭



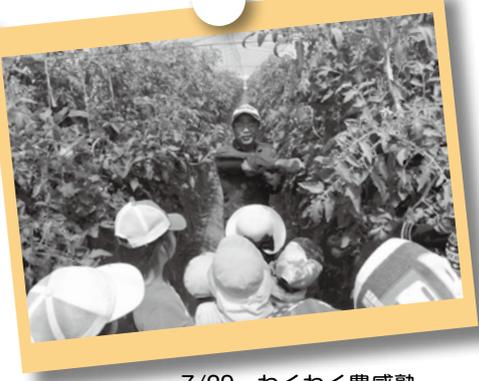
7/7 JAびえいチャリティライブ



9/13・19 水稻現地研修会



8/18 どかんと農業まつり2018



7/29 わくわく農感塾



11/1 JAびえいオートサービスセンター竣工式



10/13 酪育ミルクアカデミー



9/22 平成30年産米 初検査

●7月

- 農林水産省とJAグループ北海道との覚醒交換会 1~3日
- 「日本で最も美しい村」連合定期総会 5~7日
- 市場産地懇談会 5日
- JAびえいチャリティライブ 7日
- 穀類乾燥貯蔵施設安全祈願 9日
- 麦作合同会議 12日
- 国際農機展視察 13日
- 組織活動交流会 13日
- ライスセンター受入式 18日
- 町宮白金牧場定期総会 20日
- 支部安全狩猟射撃大会 22日
- 第10次中期計画に係るJAプロジェクト会議 23日
- 美瑛神社例大祭・御神幸式 25日
- 経済同友会視察 25日
- わくわく農感塾 29日

●8月

- どかんと農業まつり 18日
- 百合根部会消流懇談会 23日
- 地域農業振興計画(第10次中期5カ年)プロジェクト会議 27日

●9月

- 上川生産連農業会館竣工式・70周年式典 10日
- 美瑛町開拓記念式典 15日
- 平成30年産米初検査 22日
- 第13回JAびえい組合長杯パークゴルフ大会 25日
- 第11回JAびえいパークゴルフ大会 29日

●10月

- かみかわ農業祭り 8日
- 米食味試食会 11日
- 青い池観光道路・駐車場完成記念式 12日
- 酪育ミルクアカデミー 13日



11/13  
JA北海道大会



11/6 JA上川地区女性協議会  
中央ブロック研修会



11/1 産業懇談会



11/19  
組合員宅一日一斉皆訪問



11/16 青年部・フレッシュミセス会  
ミニバレー大会



11/15  
学校給食 美瑛米・食パン贈呈式



12/7 美瑛町農業担い手研修センター  
「美進」完成記念式



12/5 集落代表者研修会



11/21・22 中学生テーブルマナー講習

美瑛町へ鏡餅謹呈  
 仕事納め

29日

28日

17日

14日

7日

美瑛町農業担い手研修センター  
 「美進」完成記念式

5日

4日

1日

●12月

「丘のまち わいわいフル」オープン記念式

1日

農友会総会

4日

集落代表者研修会

5日

美瑛町農業担い手研修センター

1日

報徳社社員交流会

7日

麦作合同会議

14日

美瑛町へ鏡餅謹呈

17日

仕事納め

28日

新嘗祭

23日

中学生テーブルマナー講習

21日

22日

組合員宅一日一斉皆訪問

19日

農協法公布記念朝会

19日

美瑛火祭30周年記念式典

17日

タスマニア州政府来組

16日

学校給食 美瑛米・食パン贈呈式

15日

青年部・フレッシュミセス会ミニバレー大会

16日

役員道内研修

13日

14日

JA北海道大会

13日

第23回東京美瑛会総会

8日

タスマニア出发者激励会

16日

JA上川地区女性協議会中央ブロック研修会

6日

オートサービスセンター竣工式

1日

産業懇談会

1日

●11月

酪農家族懇談会  
 異業種人材育成研修に係る最終報告会

20日

18日



# 進化する農作業の自動化



## 生産者の期待は労働力不足対応

ロボット技術やICT(情報通信技術)を活用して農作業の超省力化、高品質農業生産を実現する新たな農業が、いよいよ生産現場に登場する新たな農業時代が間近なものとなっています。スマート農業が求められる背景は、農業現場での担い手の高齢化・農作業における省力化、軽量化・新規就農者への栽培技術力の継承・異業種での農業分野での活躍の期待などが挙げられています。生産者がスマート農業に期待するトップは労働力不足対応・コスト低減が圧倒的でこの解決は美瑛農業にとっても喫緊の課題となっています。当JAもこれらの取り組みに向

け協議を重ねているところですが、12月5日開催の集落代表者研修会で「スマート農業の取り組みについて」現状報告がなされました。この研修会報告や道、国の取り組みについてシリーズで考えてみたいと思います。

## 省力化技術に各地で様々な

### チャレンジ

担い手の減少や高齢化の進行から地域農業の弱体化が懸念されており、各地域では将来の課題を見越した協業化や法人化、土地基盤整備や農地の集積、省力化技術の例では水稻の直播栽培など、さまざまなチャレンジが始まっています。こうしたチャレンジをス

スマート農業は力強くサポートできると考えられています。技術を地域の営農システムに組み込んで「道具」として使いこなすことで、魅力ある地域産業として農業の新たな可能性を引き出すことができるものと期待されているのが現状です。

## 国もスマート農業推進に法整備

政府は11月27日の農林水産業・地域の活力創造本部で農林水産業・地域の活力創造プランを改訂したスマート農業の普及加速や、輸出力の強化、農地中間管理機構の5年後運用見直しなどを追加しました。改訂されたプランにはスマート農業の推進を明記しています。スマート農業とはロボット技術、AI、ICTなどの活用により超省力・高品質生産を可能にする農業で、自動運転システムと高精度GPSで省力化、無人化により労働力不足を解消、センシング技術とビッグデータを活用するなどの精密農業で収量と品質を向上。ロボット技術を使った重労働や危険作業からの解放による労働環境の改善などをめざす事としています。技術開発は進んでおり、農薬散布用ドローンは、従来作業では1畝当たり

## スマート

### 農業を考える①

1時間かかっていたものの、10分で散布できるようになったり、自動運転田植え機は熟練者並みの速度と精度で作業する機械が開発され2019年度以降、実用化する見込みとなっています。AIによる画像認識で収穫適期の果実を自動で収穫するロボットも大手メーカーなどで開発しています。

これらの技術を早急に実用化、商品化することを政府はめざし、「2025年までに農業の担い手のほぼすべてがデータを活用した農業を実践」することを目標に掲げています。

たとえば稲作経営では現在の単収や労働時間が新技術によってどう進化するかなどを示し、また、各技術の開発、実証、普及などをどう進めていくかロードマップも作成されます。農薬用ドローンについては規制の見直しを行い、ドローンの飛行農地周辺に緩衝区域を設置することで、日中・夜間に関わらず、農薬や種子、肥料散布の際の補助者を不要とすることの検討に加え、林地などで遮られた農地への目視外散布も認める事としています。

また、ドローンで散布可能な農薬種類の拡大、農薬散布等のための飛行許可、承認に関する取り扱いの見直しなども行われます。(次号へ続く)

## 本年もよろしく お願い致します

支所長

小林 孝 夫

地域第一係長

外山 直 樹

地域第二係長

辻 英 敏

専門主任

遠藤 成 典

専門主任

吉田 純 子

専門普及指導員

堀田 ひとみ

専門普及指導員

工藤 淑 郎

専門普及指導員

細川 篤 通

普及指導員

中野 寛 之

普及職員

藤本 周

(敬称略)

## 年頭のごあいさつ



### 美瑛のブランド力発揮で 産地の発展を

上川農業改良普及センター大雪支所

支所長 小林 孝 夫

新年明けましておめでとございませう。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。日頃、農業改良普及事業の推進に当たりまして、農業者、関係機関の皆様からご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年の作柄につきましては、水稻、畑作物、園芸品目とも平年を下回る収量となりました。上川地方の水稲作況指数90は、平成に入ってからでは平成5年の50、平成15年の77、平成21年の83に次ぐ、4番目の低い結果となります。低温、高温、日照不足、集中豪雨など厳しい気象条件の中、農家の方々、関係機関も力を合わせて、その影響を最小限に抑えようと取り組まれましたが、自然相手の農産物、人の手が及ばぬところもあつたかと思えます。

昨年は北海道命名150年でした

が、北海道農業は、凶作を糧に技術を進歩させてきましたし、今でも進歩を続けています。例えば、美瑛町における平成20年代と10年代の収量を比較してみますと、小麦で17%、水稻で6%増収しています。人の手が及ばぬところがあることも確かですが、人の手で出来ることもまだあると思います。

さて、変化の激しい社会の中で、農業を取り巻く状況も目まぐるしく変化しています。TPP11、日欧EPAが発効または発効が予定されていますが、農業分野のグローバル化の流れが加速されることが予想されます。北海道の農畜産物に対する影響は、道の試算によりますと、TPP11で293億470億円、日欧EPAが198億299億円とされています。今までの国内産地間競争から、外国産との競争が本格化してきます。これまで美瑛町で取り組まれてこられた、安心・安

全、高品質、ブランド力、国際感覚を持った担い手の育成などは、グローバル化の流れの中で、大きな力になることでしょう。

進化論を唱えたダーウィンの言葉に「強い者が生き残るのではない。賢い者が生き残るのではない。唯一生き残るのは、変化する者だ」というのがあります。平成から新たな元号に改元される今年、農業の国際化に向けての大きな節目の年です。これまでの農家の皆様が培ってきた高度な管理技術を土台に、農家とJAが築き上げてきた「組織力」・お互いの「信頼」により、次世代につなげる取り組みが重要となります。

JAびえい地域の農業は、水稻、小麦や馬鈴しょ等の畑作物、トマトに代表される園芸品目、そして全国、全世界に発信できるブランド力があります。

今後とも、地域の持つ力を大いに發揮して、北海道農業を代表する産地として発展されることを御祈念申し上げます。普及センターにおきましても、今後とも変革する農業情勢を的確に捉まえて、農家の皆様及び関係機関の方々と一体となり、職員一同尽力してまいります。

結びとなりますが、本年が皆様にとってよりよい年となりますように、心より御祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



# 営農ガイド

## 大雪地区 普及センター 農業改良

EINOU GUIDE

### 平成30年の水稻作柄を 振り返って

融雪は  
 順調に進んだ

3月下旬から日照及び気温も良好に経過したので、融雪は順調に進み大雪地区（美瑛町・東川町・東神楽町）の融雪期は4月1日となりました。平年比較で7日も早い融雪期でした。

種子の予措作業及び育苗ハウスの準備等は、ほぼ平年並みに進みました。

成苗は育苗日数を30日以内に納めるために意図的に作業を遅らせたので、地域内での苗質は、若くなりました。

大雪地区の中では美瑛町は、作業の進みが早い方で、平年並みからやや早目に進行しました。

本田の耕起作業は融雪が早かったことから、乾燥が進み、耕起盛期は4月30日となり、平年より3日も早まりました。育苗期間中は気温が高温多照に経過したために、カビ等の発生も無くて順調でした。

一部では高温によるヤケの発生がありました。苗が使えない程の影響はありませんでした。

移植作業は管内トップ  
 を切って始まった

美瑛町内での移植作業は大雪地区トップを切って5月9日に始まりました。

5月中旬から6月一半月までは高温多照で良好に経過しましたので、早く移植

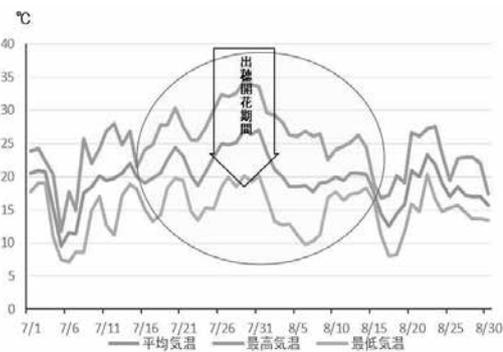
した苗は、短期間で活着して今年も良い作柄になることを予感させました。

しかし、期待とは裏腹で6月8日から低温寡照となり、生育は停滞しました。

特に5月末に移植した苗は初期分けつの発生が抑制され幾日も移植したままの状態でした。

一部の除草剤を施用したほ場では、低温と除草剤の総合的症状と思われる苗の黄化が観察されました。

中苗を移植したほ場では生育の停滞が大きい状況になりました。



出穂開花期の気温の推移

(図) 7月下旬から8月上旬にかけての気温の経過

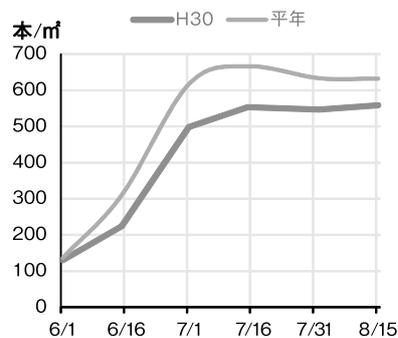
7月に入っても天候は回復せず、分けつは停滞して、平年と大きく差がついてしまい、茎数不足となりました。

表 「ななつぼし」 稔実歩合

年	稔実歩合(大雪地区)
H26	95.8%
H27	97.4%
H28	95.2%
H29	97.7%
H30	96.0%

稔実状況は良好

特に3日・4日には豪雨があり、115mmを記録しました。(美瑛町アマダ入植)  
 3半旬以降は高温多照となって生育回復の兆しが見えました。  
 特に出穂開花は順調となりました。



茎数の推移 (本/m²)

(図) 大雪地区水稻茎数の推移

冷害危険期の低温遭遇により、不稔多発が心配されましたが、天候が好天になったために、問題は生じませんでした。  
 花粉も充実して、高い稔実状況となりました。

**登熟後半は低温寡照  
再び生育停滞**

出穂開花の期間は良好に経過したため、今後の経過次第では作柄が、回復期待の持てる状況となりましたが、盆を過ぎると再び低温寡照となって生育は停滞し、登熟は緩慢となりました。

成熟期は9月16日となり、平年比較で4日遅れとなりました。中苗移植のほ場及び移植の遅かったほ場は更に登熟が遅れました。

収穫始は9月17日で、平年比較3日遅くなりました。その後登熟も遅れていたため作業は進まず、収穫作業終了は10月7日と平年よりも7日も遅くなりました。

**農政事務所公表の  
作柄は不良**

農政事務所からの、今年の水稻作柄（12月10日公表）は北海道の作況指数90の不良・上川管内も90で同じく不良となり、15ぶりの不良となりました。

収量が平年を下回ったのは、初期からの低温で茎数確保が出来なかつたため、玄米タンパク含量も高くなりました。

しかし、7月下旬から8月にかけての高温多照が無ければ大冷害の様相でした。悪いながらも一部は救われました。

いもち病の発生は確認されませんでした。適正防除でドロオイムシ・カメムシの加害被害は無く、一部災害被害で豪雨による冠水・浸水がありました。台風等強風による倒伏被害はありませんでした。

**畑作**

平成30年度の春作業は、5月上旬の降雨による一時停滞した時期を除き、は種・植付作業は比較的順調でした。しかし、土壌水分が不足し、砕土がやや粗くなった春まき小麦や豆類の一部ほ場では出芽ムラなどの影響が見られました。6月上旬からの低温・曇天傾向は、作物全体に遅れる気象となりました。さらに、7月は中旬までに300mmを超える大雨により、湿害による影響が多くの作物で見られました。

気温の変化や降雨の影響により、畑作全体に収量低下の年次となりました。生産基盤の土壌条件が作物の生育や収量を左右した1年です。次年度以降、複数年に渡る改善も含めて冬期間中にご検討をお願いします。

表1 美瑛町における根雪始・融雪期の平年差

項目	根雪始	融雪期	根雪期間
H30	11月18日	4月2日	135
平年	11月25日	4月9日	135
平年差	7日早	7日早	1日短

**1 秋まき小麦（きたほなみ）  
① 生育経過（表1、表2、図1）**

融雪期が平年よりも7日早く、4月中旬から6月初旬まで気温が高く好天にも恵まれ、起生期、幼穂形成期、止葉期、出穂期は3〜4日早くなりました。

一転、6月8日から、低温に経過し、降雨の影響もあり、開花期はバラツキが見られ、乳熟期は平年並となりました。7月中旬にかけての大雨、日照不足等は登熟後半の子実の充実に影響しました。

また、7月17日以降、高温条件が続きましたが、成熟期は2日遅れとなりました。

生育が早めに経過したため、草丈・稈長は平年より高く推移しました。雪腐病の被害を回避できたほ場も多く、茎数・穂数は平年よりやや多く確保できました。（図1）。

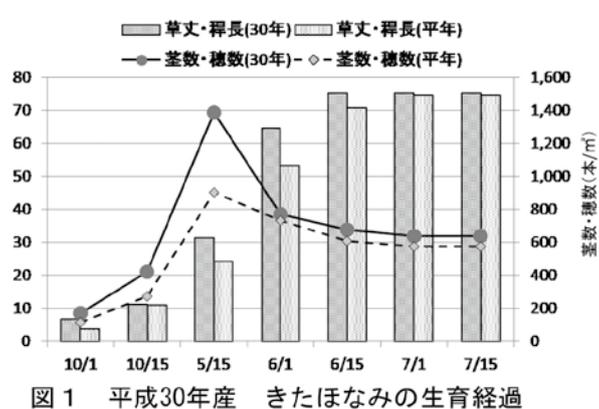


表2 秋まき小麦（きたほなみ）の生育期節・収穫作業

項目	生育期節						農作業期		
	起生期	幼穂形成期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
H30	4月17日	5月7日	5月27日	6月4日	7月1日	7月23日	7月25日	7月28日	8月2日
平年	4月20日	5月10日	5月31日	6月8日	7月1日	7月21日	7月24日	7月27日	8月2日
遅速	3日早	3日早	4日早	4日早	±0	2日遅	1日遅	1日遅	±0

表3 秋まき小麦(きたほなみ)の収量構成要素(美瑛町作況)

項目	m <sup>2</sup> 当り	1穂粒数	千粒重	子実重	歩留※	蛋白含有率
	穂数(本)	(粒/穂)	(g)	(kg/10a)	(%)	(%)
本年	640	26.6	40.5	612	89	13.2
平年	586	31.5	41.5	692	91	12.4
平年比(%)	109	85	98	88	98	106

※1穂粒数・千粒重は2.3mm 綱上

(2) 病害虫の発生状況  
 町内で初めて「なまぐさ黒穂病」が発生しましたが、他地区での拡大は確認されませんでした。  
 出穂以降の曇天により多くのほ場で「赤かび病」が発生しました。また、止葉を含め、長楕円形・不整形の斑紋症状となる「ふ枯病」と見られる病害が散見されました。  
 つどんこ病は止葉期頃の5月下旬から「きたほなみ」「ゆめちから」の両品種に初発が確認されましたが、防除も実施され、上位葉への影響は見られませんでした。  
 (3) 作況における収量構成要素(表3)  
 穂数は平年よりやや多いものの、1穂粒数が少なく、千粒重は平年を若干下回ったことから、歩留も低下し、収量は

表4 4～8月の平均気温・日照時間・降水量の平年対比(℃・%)

旬別	4/上	4/中	4/下	5/上	5/中	5/下	6/上	6/中	6/下	7/上	7/中	7/下	8/上	8/中	8/下
平均気温(℃)	0.5	1.6	2.8	-0.9	1.8	1.6	1.7	-3.3	0.2	-1.4	1.8	3.3	-1.2	-2.5	-0.3
日照時間(%)	71%	127%	150%	60%	95%	132%	119%	69%	39%	28%	99%	166%	155%	34%	40%
降水量(%)	27%	123%	0%	152%	73%	57%	151%	412%	123%	874%	231%	1%	147%	268%	139%

平年を下回りました。  
 (4) 作柄に影響を及ぼした要因  
 小麦の登熟には、気温が低めで日照の多い条件が望ましく、登熟期間

表5 31年産秋まき小麦のは種・出芽期

	は種始	は種期	は種終	出芽期
H31年産	9月5日	9月12日	9月21日	9月23日
平年	9月13日	9月20日	9月28日	9月30日
遅速	早8日	早8日	早7日	早7日

※は種作業は、きたほなみ・ゆめちから。出芽期はきたほなみ対象。

が長いほど千粒重(粒大)が大きくなる傾向にあります。しかし、7月1～15日までの大雨(312mm)・平年の71.2%(ともに日照不足(平年比45%)(表4)、さらに7月後半の高温少雨(25℃を超える日が2日間続いた)は、子実の充実に影響しました。1穂粒数の減少と粒大の低下により収量低下の大きな要因となりました。また、収量の低下は、蛋白含量の増加にも結びつく結果となりました。  
 (5) 平成31年産秋まき小麦の生育状況  
 ばれいしよなど前作物の収穫が順調だったこと、9月の降水量が29mmと少雨(平年の24%)だったこともあり、これまでに無いほど、は種作業は順調で、平年より7日早くなりました(表5)。  
 11月1日までの草丈・葉数は、平年より10日以上進んでいます。  
 特に、茎数は11月1日現在の平年茎数438本/m<sup>2</sup>に対して、954本/m<sup>2</sup>と2・18倍の茎数となっています。その後、11/9の調査では、1,300本とさらに増加しています(図3)。

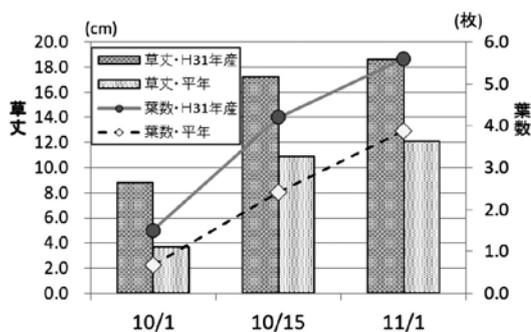


図2 平成31年産 きたほなみの草丈・葉数

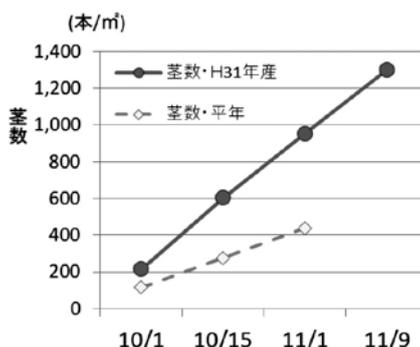


図3 平成31年産 きたほなみの茎数の推移

月平均気温を平年と比較すると、9月は20.4℃、10月は1.1℃、11月1～15日までは4℃高く推移しています。現在のところ、いずれのほ場も過繁茂状態となっています。次年度は、融雪後に越冬前の茎数を維持すると、肥培管理等に充分注意する必要があります。  
 は種時期に応じたは種量の適正化を改めて、検討いただければと思います。

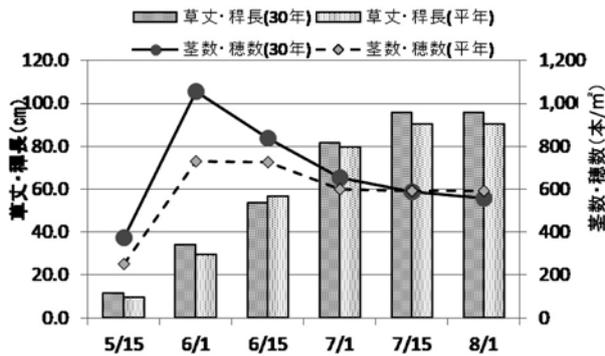


図2 平成30年産 春まき小麦の生育経過

(1) 生育経過  
 融雪期が早まり、その後、少雨に経過したため、は種作業は順調で、4月末に7日早くは種終となりました。5月初旬に降雨があり出芽期は、平年より3日早まりましたが、は種時の土壌水分の不足や碎土が粗いほ場では、出芽ムラの見られたほ場も散見されました。  
 出芽後は、6月初旬までの好天もあり、順調でしたが、6月8日からの低温により生育は緩慢となり、止葉期は平年より2日早、出穂期は1日早となりました。7月の大雨・日照不足により乳熟期は2日遅くなりましたが、7月下旬からの高温少雨により、成熟期は平年並でした。

## 2 春まき小麦（春よ恋）

表6 春まき小麦の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節					農作業期		
	は種始	は種期	は種終	出芽期	止葉期	出穂期	乳熟期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫終
H30	4月20日	4月22日	4月25日	5月4日	6月10日	6月21日	7月15日	8月4日	8月4日	8月6日	8月12日
平年	4月21日	4月26日	5月2日	5月7日	6月12日	6月22日	7月13日	8月4日	8月5日	8月8日	8月12日
遅速	1日早	4日早	7日早	3日早	2日早	1日早	2日遅	±0	1日遅	2日早	±0

収穫は、8月4日から始まり、収穫期は8月6日と2日早まりましたが、8月9日から降雨が続ぎ、一部ほ場では収穫が遅れました。

表7 春まき小麦の収量構成要素（美瑛町作況）

項目	登熟期間※ (日間)	m <sup>2</sup> 当り 穂数(本)	1穂粒数※ (粒/穂)	千粒重※ (g)	子実重 (kg/10a)	歩留 (%)	歩留 (%)
H30	44	557	16.1	40.2	349	93	14.6
平年	43	591	22.5	40.3	464	86	13.8
平年比(%)	102	94	71	100	75	107	106

※登熟期間は出穂期から成熟期までの期間

※1穂粒数・千粒重は2.3mmの網上より

は種作業が平年より早かったことから、草丈・茎数ともに平年を上回る傾向でしたが、穂数は557本/m<sup>2</sup>（平年比94%）と少なくなりました。  
 (2) 病害虫の発生状況  
 うどんこ病の発生は、6月上旬頃より発生が目立ってきました。赤かび病は、出穂以降の曇雨天もあり、秋まき小麦と同様、多くのほ場で発生が見られました。

## (3) 作況ほにおける収量構成要素(表7)

穂数が少なく、6月以降の低温・大雨・日照不足は、1穂粒数の減少（平年比71%）により、子実重は平年の75%と大きく低下しました。収量の低下もあり蛋白含有率は14.6%（パン・中華めん用基準11.5〜14.0%、許容値10.0〜15.5%）と基準値を上回りました。

## (4) 作柄に影響を及ぼした要因

秋まき小麦同様、小麦の登熟には、気温が低めで日照の多い条件が望ましく、登熟期間が長いほど千粒重（粒大）が大きくなる傾向にあります。しかし、7月1〜15日までの大雨（312mm：平年の71.2%）とともに日照不足（平年比45%）は、1穂粒数の減少に大きく影響したものの思われます。千粒重は平年並に確保できましたが、穂数の減少、1穂粒数の低下により収量は平年を大きく下回りました。また、収量の低下は、蛋白含量率の増加にも結びつく結果となりました。収穫後半に降雨・気温の低下により、一部ほ場では穂発芽粒や低アミロ小麦が発生し、品質低下を招きました。



### 3 小豆(しゅまり)

#### (1) 生育の経過(表8、表9、表10)

小豆のは種作業は、少雨傾向だったため、平年より3日早くは種期となり、概ね5月末にはは種終となりました。

小豆は、水稲と同様、積算気温によって生育が左右されます。出芽直後から低温に経過し、生育は遅れて推移しました(表8、9)。6月及び7月の大雨は、中耕などの管理作業ができず、緩傾斜のほ場でも畦が決壊し、畦間の土壌流出などによる影響が多くのは場で見られました。

小豆は豆類の中でも初期生育が遅いため、生育に対する影響が大きく見られました。7月15日現在の調査で7日遅れていましたが、その後、高温で経過したことから、開花期は、2日の遅れまで回復してきました。しかし、草丈は平年より短く、生育量は平年より著しく劣りました。

成熟期は平年の8日遅れとなりました。開花が長期間だったこと、9月の気温が高かったことから、例年、9月下旬から収穫始となったにもかかわらず、落葉が進まなかったこと、若い莢の成熟を待たせたことなどから、収穫のピークは平年から10日遅れとなりました。

収穫は、草丈が短く、口入を最小限にするよう調整するなど苦労した作業となりました。粒大(百粒重)は平年より大きくはなりませんが、着莢数は平年の45%と著しく少なくなりました。

表8 小豆の生育期節・農作業期

項目	農作業期			生育期節			農作業期			生育期間	
	は種始	は種期	は種終	出芽期	開花期	成熟期	収穫始	収穫期	収穫期	出芽期~開花期	開花期~成熟期
H30年	5月20日	5月22日	5月27日	6月6日	7月28日	9月18日	9月30日	10月15日	10月22日	52	52
平年	5月19日	5月25日	6月4日	6月9日	7月26日	9月10日	9月19日	10月5日	10月22日	47	46
遅速	遅1日	早3日	早8日	早3日	遅2日	遅8日	遅11日	遅10日	±0	5日長	6日長

表9 作況調査の遅速日数の推移

作況日	6月15日	7月1日	7月15日	8月1日	8月15日	9月1日	9月15日	10月1日
遅速日数	±0	4日遅	7日遅	2日遅	5日遅	6日遅	7日遅	8日遅

(2) 作柄に影響を及ぼした要因  
 一つ目の要因として、6月の低温条件から初期生育が遅れたこと、二つ目に生育初期からの大雨は、根張りへの影響が大きかったと思われれますが、草丈が伸び

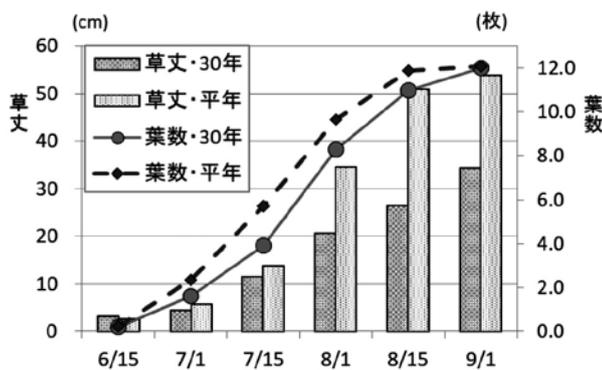


図3 平成30年産 小豆の生育経過

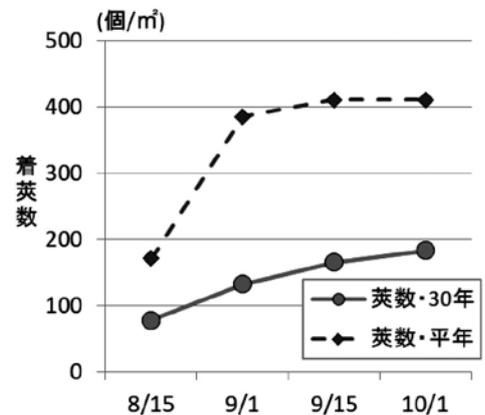


図4 平成30年産 小豆の着莢数の推移

表10 小豆の収量構成要素

項目	m²当莢数(個)	一莢内粒数(粒/莢)	百粒重(g)	収量(kg/10a)
H30年	184	5.1	13.7	153
平年	411	6.2	11.6	270
平年比(%)	45	82	118	57



ず、生育量が著しく劣ったことです。豆類は、生育量に応じた体力に見合わない花・莢は落下させるといいます。7月下旬からの高温は、それまでの遅れを回復基調としましたが、生育量が劣り、着莢数の著しい減少と1莢内粒数の減少を招き、大きく収量を低下させることとなりました。

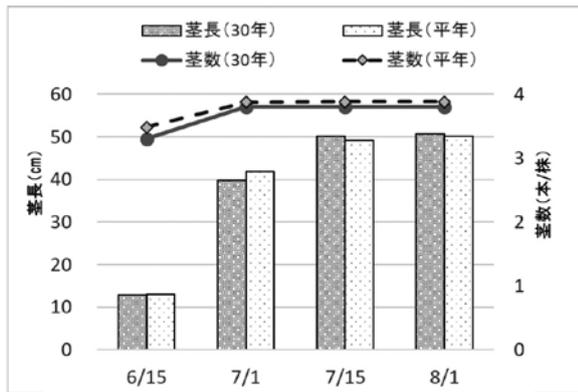


図5 平成30年産 ばれいしょの生育経過 (男爵薯)

収穫始は平年より4日早く、9月に入ると降水量が少なく経過したこともあり、順調に作業が進められ、収穫終(90%)は、12日早まりました。

7月下旬から8月にかけての高温少雨により、男爵薯では、茎葉の萎れが目立ち始め、茎葉黄変期は平年並となりました。

融雪期が、平年より7日早く、その後、少雨に経過したこともあり、植付作業は平年より13日早く始まり、7日早く植付終(90%終了)となりました。5月は気温が高く経過し、萌芽期も9日早くになりました。6月8日から低温・多雨に経過し、着蕾期は3日早く、開花期は平年並となりました。

#### 4 ばれいしょ (男爵薯)

##### (1) 生育の経過と病害の発生状況

6月中旬以降の低温多雨条件は、病害の発生が懸念されましたが、疫病予測システムの活用により効果的な薬剤散布も行われ、7月中旬以降の高温少雨は病害の発生が抑制される好適な条件となりました。

表11 植付・収穫作業（全品種対象）と生育期節（男爵薯～美瑛町作況）

	農作業期			生育期節					農作業期		
	植付始	植付期	植付終	萌芽期	着蕾期	開花期	終花期	茎葉黄変期	収穫始	収穫期	収穫終
30年	4月24日	5月2日	5月15日	5月26日	6月13日	7月1日	7月15日	8月10日	8月24日	9月13日	9月30日
平年	5月7日	5月15日	5月22日	6月4日	6月18日	7月1日	7月16日	8月10日	8月28日	9月18日	10月12日
遅速	早13日	早13日	早7日	早9日	早5日	±0	早5日	±0	早4日	早5日	早12日

表12 収量構成要素（美瑛町作況ほ～男爵薯）

	茎数 (本/株)	株当上いも数 (個/株)	上いも1個重 (g/個)	上いも収量 (kg/10a)	規格内収量 (kg/10a)	規格内率 (%)
本年	3.8	11.1	79	4,223	3,794	90
平年	3.9	9.2	89	4,045	3,822	95
平年比 (%)	97	121	88	104	99	95

また、軟腐病も多湿な気象条件でしたが、例年より少ない発生でした。

7 (2) 作況ほにおける収量構成要素(表)

茎数は、ほぼ平年並で、株当たりいも数が多く(平年の121%)、平均1個重が軽くなりました(平年の88%)。収量は、少区画での調査結果のため高くなっていますが、上いも収量の平年比より規格内収量(40g以上)は低下しました。

また、軟腐病も多湿な気象条件でしたが、例年より少ない発生でした。

(3) 作柄に影響を及ぼした要因

6月中旬の塊茎形成時期となる着蕾期前後に、土壌水分が多い条件だったため、株当たりいも数の増加になりましたが、7月下旬の高温少雨は、塊茎肥大を抑制し、全体的に小玉傾向となり収量が伸びなかった要因でもあります。

#### 5 2つねい

##### (1) 生育経過

は種作業は、概ね平年並に行われました。4月中旬以降、少雨に経過したため、移植作業は平年より1週間程度早まりました。初期生育は概ね良好でしたが、6月中旬までの多雨(6月前半平年の3.5倍)と7月前半の大雨(平年の7.1倍)は、湿害発生の要因となりました。また、7月下旬からの高温・少雨傾向は、黄化症状を伴い、根部肥大が停滞した時期でもありました。8月の降雨で黄化症状は新葉の展開もあり、回復傾向にありましたが、9月の少雨で黄化症状の発生が見られるようになってきました。根部の肥大は、少雨傾向の時期は停滞し、降雨により回復するなどを繰り返しながらの生育となりました。

##### (2) 病害虫の発生状況

病害虫は褐斑病の発生が少なく、6～7月の多雨により根腐病・黒根病の多発も懸念されましたが少発生で、ヨトウムシの被害も少ない傾向でした。

表13 てん菜農作業期

農作業期 出芽期	農作業期			農作業期			農作業期		
	は種始	は種期	は種終	移植始	移植期	移植終	収穫始	収穫期	収穫終
本年	3月10日	3月15日	3月21日	4月26日	4月30日	5月13日	10月9日	10月16日	10月22日
平年	3月12日	3月16日	3月23日	5月3日	5月8日	5月17日	10月12日	10月22日	10月30日
遅速	早2日	早1日	早2日	早7日	早8日	早4日	早3日	早6日	早8日

(3) 作柄に影響を及ぼした要因  
 本年の6～7月の大雨と7月下旬からの高温少雨以降、黄化症状が見られるほ場が多くなり、茎葉の生育量が劣ったほ場では根部肥大への影響が大きく見られました。直播栽培では顕著に見られ、移

表14 てんさいの収量・糖分・糖量の実績

年次	根重 (kg/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)
H 30	5,421	17.06%	925
平年	6,646	16.24%	1,080
平年比	82	105	86

※日甜調

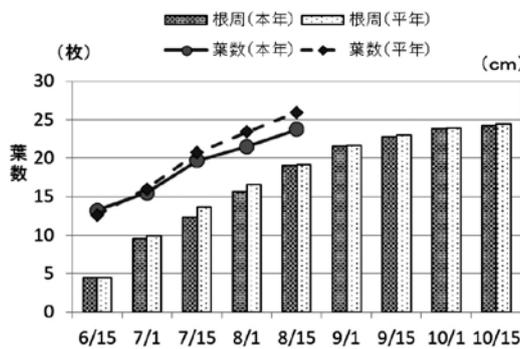


図6 平成30年産 てんさいの生育経過

植栽培と同様にほ場間差や個人差が大きくなった年次でもあります。移植時期は、平年よりも相対的に早まりましたが、紙筒が剥がれづらくなるトラブルが散見されました。茎葉重の少ないほ場は、根重も劣る傾向で、生育中期の土壤水分過多による根張りへの影響が大きかったと思われる。ただし、9月の多照少雨は、糖分向上に寄与した気象となりました。

## 野菜

平成30年は、融雪が平年よりも早まりました。4月中旬から6月上旬までは好天に恵まれ、露地・施設野菜は、は種や移植作業が順調に進みました。しかし、6月中旬から7月上旬の日照不足で生育の遅れが野菜全般で目立ち、トマトでは灰色かび病が多発しました。また、7月3日の大雨により一部の露地・施設野菜で浸水の被害が見られました。その後、7月中旬から8月上旬までの高温、強日射、少雨等により各野菜で茎葉の萎れ、トマトでは花落ちによる着果数の減少、ブロッコリーではブラウンビーズの発生が見られました。なお、9月以降は好天に恵まれ、収穫作業は順調に進みました。

### 果菜類

#### 1 トマト

##### ① 促成・半促成作型

4月中旬から6月上旬までの好天により着果・肥大は順調で、共選は平年より早い5月15日の開始となりました。4月中旬から気温が高く推移したことで果実の肥大が急速に進みました。4月下旬は少雨となり、定植後にかん水を控えたほ場では、土壤水分が不足し、5月上旬以降で尻腐れ果が低段位に見られました。6月中旬から7月上旬にかけて、日照不足や低温による生育の停滞及び7月3日の大雨により湿度の上昇で灰色かび病の発生が見られました。7月中旬から8月上旬までは30℃を超える日が続き、一部で花落ちによる着果数の減少や茎葉の萎

れが見られました。また、昨年より少ないものの軟化玉の発生が見られました。

##### ② 抑制作型

5月21日以降の定植となる抑制作型は、5月中旬から6月上旬で好天が続いたことで、土壤水分が少ない状況となり、定植後のかん水を控えたほ場では、土壤水分が不足し、6月下旬以降で尻腐れ果が低段位に見られました。

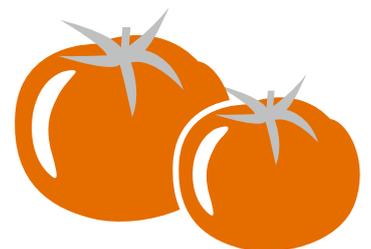
6月中旬から7月上旬における低温や日照時間が少なかったことにより草丈の生育が鈍化し、7月中旬から8月上旬の高温による花落ちで着果数の減少がありました。促成や半促成も含め、平成30年度の出荷量は前年対比約89%となりました。

##### ③ 病害虫

病害は、6月中旬から7月上旬の低温と曇天により、灰色かび病の発生が多くなりました。害虫は、アザミウマ類の発生が昨年と同様に6～7月に多く見られ、白ふくれ症状の果実が散見されました。

#### 2 スイートコーン(生食用)

は種作業は例年より早く(5月中旬)



行われました。出芽は順調でしたが、6月及び7月上旬の低温と日照不足により草丈の生育が鈍化するなど生育に遅れが見られました。また、開花時期の天候不順により、良質な花粉が不足し、開花時期の降雨とあわせて、先端不稔等の障害の発生が散見されました。その後、7月中旬から気温が高く推移しましたが生育遅れの影響は収穫まで続きませんでした。

3 **さやいんげん**  
は種時期は前年並の5月20日頃から始まりました。

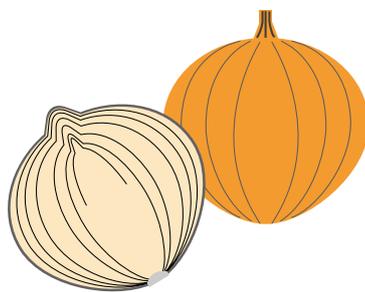
出芽後の初期生育は、6月の低温、曇天により、草丈の生育が鈍化するなどの遅れが見られました。7月中旬以降、天候の回復が見られたものの、開花時期が7月上旬の低温にあたったことで、収穫時期は平年より遅く、8月20日頃から始まりました。

害虫は、タネバエの被害は見られませんでした。

### 1 **ゆりね**

4月下旬からの好天により初期生育は順調に経過しました。その後、6月、7月上旬の低温と日照不足により草丈が短く生育が緩慢となりました。その後、7月中旬から8月上旬は高温で経過したことにより、生育が進みましたが、りん茎の肥大期間が短くなり、前年よりりん茎肥大が劣りました。

害虫の発生は、葉先枯れが一部で見られました。また、鱗茎さび症、あこん症の発生が例年より少ないものの散見されました。



### 2 **たまねぎ**

融雪が早く、直播と移植は早いほ場で4月下旬からほ場条件が良好な中で作業が進められました。直播は比較的順調に出芽しました。生育は6月の低温の影響を受け、初期生育が緩慢となり、平年よりも生育が劣りました。7月中旬から8月上旬の高温による影響で、球肥大が進まず小玉傾向となりました。その後は、倒伏状況を確認しながらの根切り作業となりました。

収穫は、移植で9月上旬から始まり、直播は9月下旬頃からの収穫となりました。

病害虫は地域で、ネギハモグリバエの被害が見られ、一部で軟腐病と乾腐病の発生が見られました。

### 洋菜類

#### 1 **グリーンアスパラガス**

融雪後、4月下旬～5月の好天にも恵まれ、収穫は5月中旬から始まりました。6月上旬までは収穫量が昨年より増加したものの、5月下旬からの少雨によって土壌水分が不足したことも影響し、平年よりも収穫量は低下しました。また、収穫終盤の6月中旬は低温によるアントシアンの発生が一部のほ場でも見られました。収穫は6月下旬まで行われ、前年より収穫量が増加したものの、平年より減少しました。

病害虫は、収穫期間中、ジウウシホシクビナガハムシの食害が散見され、9月頃にはヨトウガの食害がやや多くなりました。斑点病の発生は平年並みの状況でした。

#### 2 **ブロッコリー**

融雪が早く、4月下旬～5月の好天により、ほ場条件が良好だった点、また、セル苗の生育が良好だったため、定植時期は例年より早い時期から始まりました。しかし、6月～7月上旬の低温により花蕾の生育が遅れ、花蕾腐敗病の発生が散見されました。また、7月中旬以降の高温、強日射により花蕾肥大期にブラウンビースの発生が散見されました。

病害虫は、軟腐病の発生は少なく、ヨトウムシ、コナガの発生量は平年並みとなりました。



### 〈飼料作物〉

#### 1 **飼料用とうもろこし**

##### ① **生育の経過と作柄の概要**

6月の低温、7月前半の低温多雨の影響で、生育がやや遅れ、特に、土壌の過湿により、草丈が伸びず、黄化するほ場が多く見られました。7月後半は高温傾向となりましたが、8月の低温傾向もあり、回復には至りませんでした。

8月後半の低温寡照の影響で登熟が遅れ、収量は平年を下回りました。

#### ② **平成30年産とうもろこし(サイレージ用)の収量・品質低下要因**

6月の低温、7月前半の低温多雨、及び8月の低温により生育が遅れ、生育量が確保できませんでした。さらに、8月後半の低温寡照の影響で登熟が遅れ、穂の肥大に影響しました。

#### 2 **牧草**

##### ① **1番草の生育の概要**

萌芽期は平年より早く、その後の生育も順調に推移しました。

6月中旬～7月上旬の断続的な降雨の影響で、収穫作業は遅れました。収量は平年並となりましたが、刈り遅れによる栄養価の低下となりました。

##### ② **2番草**

2番草の生育は、やや遅れて進みましたが、収穫時期が少雨傾向となり、収量、品質ともに平年並となりました。

##### ③ **1番草・2番草の収量の概況**

1番草は、収穫時期の断続的な降雨による刈り遅れが、品質低下の大きな要因となりました。

新年の  
ごあいさつ

# 農と協同活動の拠点・組織活動

## 魅力ある青年部 活動をめざして



青年部部长

まつむら よしあき  
松村 義昭

新年あけましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては、健や  
かに新年をお迎えのこととお慶び申  
上げます。

また、日頃より青年部活動に対し  
まして多大なるご理解・ご支援・ご  
協力を頂いております皆様方には改  
めて感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、冬は大雪  
でしたが春先は融雪が早く、春作業  
は順調に進みました。しかしながら  
その後の低温・大雨と天候が悪く、  
作柄は非常に良くないものとなって  
しまいました。そして長雨からの大  
雨で災害をもたらし、さらには台風  
や北海道胆振東部地震と非常に痛ま  
しい災害が起きてしまいました。そ  
してその地震の影響から「ブラック

## 新たな活動 体制で スタート



女性部部长

やまもと きょうこ  
山本 京子

新年あけましておめでとうござい  
ます。皆様におかれましては、健や  
かに新年をお迎えのことと、心から  
お慶び申し上げます。また、日頃よ  
り女性部活動に多大なご理解・ご協  
力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は春の干ばつに始まり、台風  
や地震、そして遅い根雪などの、異  
常気象に見舞われた1年となりました。  
また9月6日未明に発生した北  
海道胆振東部地震により尊い命が失  
われてしまい、併せて全道的な大停  
電「ブラックアウト」が発生し、美  
瑛町でも酪農家の方々におかれまし

アウト」と呼ばれるような全道各地  
での停電が発生し、今までにない事  
態となってしまいました。本当に大  
変な一年だったと思います。

青年部活動と致しましては、春期  
と冬期の研修会・視察研修では農業  
に対する視野がより広がり、自分の  
営農にも役立てていきたいと思いま  
した。

フレッシュミセス会との合同事業  
のミニバレー大会では白熱した試合  
で大いに盛り上がりました。その後  
の交流会においても、より親交を深  
めることができましたと思います。

食育事業では小学生と田植えと稲  
刈りを行いました。児童から出さ  
れる質問のレベルの高さに驚いたと  
同時に食と農業に対し関心を持って

ては大変なご苦労をされたと同つて  
おります。被災された皆様へ心より  
お見舞いを申し上げます。

近年、異常気象に見舞われている日  
本。食の宝庫と言われている北海道で  
も、私たちの生命力の源となる食材は  
収穫量が減って価格が高騰しています。  
このような状況だからこそ、逆手にとつ  
て、私たちの未来を見つめ直す良いきつ  
かけとできるのではないのでしょうか。  
例えば、「食品ロス」というなんとも  
もったいない現状。豊富に食べ物があ  
ふれている日本だからこそ起きるこの  
問題に、一生産者として心を痛めてお

いることをとても嬉しく思い、未来  
を担う子供たちへ安全で安心な農作  
物を届けることの大切さを改めて感  
じました。

他にも様々な各種事業がありまし  
たが、今後も次世代を担う農業者と  
なるべく、各種事業を通じて知識や  
技術の習得、部員個々の意識の向上  
を図り地域農業の振興と魅力ある青  
年部活動をめざしていきたいと考  
えております。

最後に、本年も変わらぬご支援、  
ご指導をお願い申し上げますと  
も、併せて皆様の今年一年のご健康  
とご多幸を祈念し、年頭の挨拶とさ  
せていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいた  
します。

ります。好きな食べ物を好きな時に好  
きなだけ食べられる。これは、果たし  
て幸せなことなのでしょう。日本の  
大地の栄養、太陽の力、水の恵みから、  
私たちの体質に合った食材が生まれ  
ています。日本に生まれたからこそ、こ  
れらを余すことなく使える日本の食文  
化を大切に、一日一日、仕事も学びも  
大切にして、自分を見つめなおすこと  
を忘れずにいたいです。

私たち女性部は、平成三十一年度  
より新たな活動体制でスタートする  
ことになりました。部員減少を食い  
止めるため、何が出来るだろうか。

# 2018 フォトスケッチ



## 笑顔も届ける 活動を



フレッシュミセス会  
会長代理

ふじた ゆか  
藤田 有香

何をどう考えたらよいのか。試行錯誤した一年でありましたが、これからは部員の方々とアイディアを出し合い、自分らしく、時には新しい自分を発見できるような女性部活動を

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃よりご支援、ご協力を頂いております役員、部員、事務局の皆様から感謝申し上げます。

2018年はフレッシュミセス会に入会したばかりで右も左もわからない中、生まれたばかりの赤ちゃんを抱えながら役員を引き受けました。会員の方々の迷惑にならないどころかと不安な気持ちの中スタートしましたが、農業の仕事をお休みさせていただいたため、その分も役員職を頑張る良い機会だと思っております。

昨年は、様々な研修や活動に参加

行っていきたくて思っております。今後の女性部活動に對しましても、変わらぬ皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、残された任

させて頂く中で、多くの方と情報交換もでき、人との繋がりの大切さを改めて実感できる貴重な二年となりました。特に食育事業の二環として、町内の小学生を対象に青年部と共に行った田植え体験や、女性部の皆様と合同で行った調理実習はとても良い経験になりました。子どもたちが収穫したお米を原料とする米粉を使用した「米粉ナン」はなかなか生地がまとまらず大苦戦しましたが、美瑛産の食材を生懸命に調理しました。出来上がったカレーを笑顔で食べている子どもたちの姿を見ると、我が子の成長を見ているようでとても感動し、今まで以上に食を支える産業の大切と、美瑛の豊かさのありがたみを感じることができました。

期を役員一同、精一杯努めて参りたいと思っております。

本年が皆様にとりまして良い年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

また、作物を提供する生産者や、それを日頃調理してくださる方への「感謝のこころ」を子どもたちに伝える素晴らしい活動だと感じました。食への感謝の気持ちや笑顔が、生産者の一人である私の活力となります。今後地域の人達との繋がりを大切に、活動を通して多くの方に笑顔届けられればと思っておりますので、各会員の皆様、ご家族の皆様のご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、残された任期を役員一同、皆様のお力をお借りしつつ、務めさせて頂きたいと考えております。本年が皆様にとって輝かしい年でありますよう心よりご祈念申し上げます。



# 明日を担う

美瑛町朗根内

きくちけいいち  
菊地啓一さん  
(34歳)

青年部  
(宇莫別・朗根内)  
ブロック長理事



今回登場の菊地さんは、神奈川県横浜市のご出身。大学卒業後、6年間サラーマンとして勤め、美瑛町農業振興機構で2年間の農業研修を終え、平成28年から朗根内で就農。写真好きな菊地さんは、大学時代から北海道、そして美瑛を訪れていたそうです。当時から、いずれは住んでみたいな、というぼんやりとした憧れがあったようです。好きな食べ物には肉、寿司、横浜家系ラーメン。現在は、妻の舞さんと、3人のお子さん(俊介君、結衣ちゃん、彩乃ちゃん)と5人暮らし。今回は、そんな菊地さんに、お話を伺いました。

## 美瑛の景観に魅了され

仕事としての農業にも興味を持ったのは、大学時代の先生の「これから農業には未来がある」という言葉や、親友の美家が農家であったことなどもあり、段々と心が惹かれていきました。また、農業を通して家族でコミュニケーションをとりながら働きたいという想いもありました。そして何よりこの美しい風景に魅了

されました。家族・住環境・風景など、いろんなことがリンクして、美瑛での農業がスタートしました。

その後の2年間は、置杵牛の岡崎さん宅にて研修。米やアスパラ、かぼちゃの作業を学んだのち、平成28年から朗根内にて新規就農。現在はメインのトマト栽培が27a、生食南瓜55aを管理しています。夏場は弟と、定年退職をした父が手

伝いに来てくれています。

新規就農にあたっては、不安よりも期待が大きい状態で希望を持って美瑛に。出産の関係で、数カ月遅れで美瑛に入った妻の方が、人間関係などの不安が大きかったかも知れません。しかしながら、町の子どもの集まりに積極的に参加するなどして、現在では、地域にも打ち解けられていると思います。辛いなことに、研修先の岡崎さんと3人の子どもが全員同じ学年だったことも、ありがたかったです。子どもに関しては、健康で育ってくれば十分ですが、型にはまらず自由に育ってほしいと考えています。

## 効率の良い栽培そして反収アップも

トマトづくりに関しては、管理にしっかりと手を回していこうという共通意識を持って作業に取り組んでいます。ハウス内が混み合うと病気にもなりやすいですし、自分たちが綺麗に管理されたハウスの中で働きたいという意識があり、弟と丁寧なトマトに向き合っています。

就農した初年度の作業は苦労が多く、研修で指示された作業をするのと、自分が経営主として仕事の段取りや判断をするのでは、責任の重みや必要なスキルが全然違いました。また、平成28年の台風による大雨でトマトハウスが浸水し、当時はわからないことだらけで途方に迷いましたが、今では大きな経験が得られた

と考えています。

平成30年度の農作業については、春先は順調に作業が進みましたが、6月の低温と天候不順に大きな影響を受けました。トマトは半促成がメインで、残りは抑制で栽培を行っています。単価に救われた部分も多少ありましたが、9月の台風で抑制のハウスが飛ばされるなど、苦労が絶えなかった年となりました。

今後の目標は、反収を上げることです。平成30年度までは、自分と弟の2人がメインで作業を行っていましたが、春からは一番下の子どもが保育所に入るので、妻も作業を手伝ってくれます。全体としての1町2反の面積は維持しながら、手をかけられる範囲でトマトの比率を増やし、少ない面積で効率よく栽培をしたいと考えています。栽培技術を上げること、コストを下げながら、反収を上げていきたいです。

青年部の活動については、就農した平成28年度より加入し、平成30年度よりブロック長となりました。ブロックごとで会合を持ったりする際に、皆で集まって作業状況を話し合ったり、良い作業機械の情報交換などを行っています。また、地域の用水を整備したり、草刈りや、沢沿いに電牧を張るなど春作業を地域の人と一緒に行うことも、良い交流の場となっています。これからもこの良好な関係を保っていきたいと考えています。



# ミツバ

～和食に欠かせない日本のハーブ～

イラスト：小林裕美子

ミツバのプロフィール

【分類】セリ科ミツバ属

【原産地】東アジア

【おいしい時期(旬)】冬春(12～4月ごろ)

【主な栄養成分】カリウム、β-カロテン、リポトテニン、ミツバエンなど

## 見分け方

葉が鮮やかな緑色で香りが強い  
 葉、茎とも張りがあるはずみずみずしい

茎にツヤがあるかどうかポイント!



葉が黄色がかったり、茎が半透明になっていたりすると鮮度が落ちているのでNG



## 保存方法

3～4日以内には使い切ろう!  
 乾燥すると香りや風味が落ちるよ

新聞紙などで包んでポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室へ

乾燥防止のため新聞紙は軽く湿らせるか、根の部分を湿らせたキッチンペーパーを巻いておくとも良い

適当な長さ切って、湿らせたキッチンペーパーを敷いた保存容器に入れる

手軽に料理に添えることができて便利

## ミツバのチカラ

カリウム

高血圧予防に良いとされるカリウムも多く含む

抗酸化作用のあるβ-カロテンが豊富

β-カロテン

おひたしやあえ物などにすると、効率よくたんぱく質が摂れるよ

リポトテニン  
 ミツバエン(香り成分)

高血圧予防 心臓病予防 がん予防

脳梗塞予防 期待される効能 風邪予防  
 動脈硬化予防 ストレス緩和

リポトテニンやミツバエンなどの爽やかな香りは、ストレスを緩和したり精神をリフレッシュさせる作用あり

## 楽しみ方・食む方のコツ

### 切り方・調理法

赤ミツバ/切りミツバ  
 生のままおひたしや茶わん蒸しなどに散らして風味付けに



ゆでる場合は香りが飛ばないように、熱湯に軽くぐぐらせる程度に



天ぷらや焼き揚げにしても香り豊かで美味

根ミツバ  
 食感がしっかりしているので、サッとゆでておひたしやあえ物、卵とじなどにするとお薦め



## ミツバのいろいろ

### 赤ミツバ

「青ミツバ」とも呼ばれ、多くが水耕栽培で育てられて同年内出回る。水耕栽培されたものはほぼ全て根元にスポンジが付いている。根元まで日光に当てると根も青く、香りも豊かなおひたしや茶わん蒸しなどの彩りに



### 根ミツバ

畑などで日光に当てないよう土を寄せた状態で育てられている。葉は白くするための赤ミツバより風味が強く、歯応えがあるおひたしやあえ物などにするとシャキシャキとした食感が楽しめる。3～4月ごろが旬



### 切りミツバ

根株をハウスなどで日光に当てず水耕栽培し収穫時に根元をカットして130センチは白く茹でて柔らかく、優しい食感と上品な香りが持ち味のおひたしやお正月の雑煮などに幅広く使われる。12～2月が旬



### 天然物

山などに自生しているミツバは赤ミツバや根ミツバとは雰囲気まったく違う。葉が大きく、茎もしっかりとしていて風味がより強い



フキやワラビなどと共に山菜採りで収穫できる!

## ミツバのじみツ

1本の茎に複数の葉が付いているのが特徴  
 セリ科ミツバ属の多年草



## 歴史

原産地  
 日本  
 中国など



日本での栽培は江戸時代になってから

天然物のミツバは、若く柔らかい葉茎を伸ばす3月ごろから初夏にかけてが旬。天然物は香りが良くシャキシャキとした食感が楽しめる

『農業全書』(1697年) 栽培法や簡単な食べ方  
 『大和本草』(1709年) イラストが描かれている



軟化栽培は江戸時代から行われていた。日光栽培による赤ミツバ(青ミツバ)の栽培も明治時代以前に西日本で行われていた

## 地域の 学校紹介



### 美瑛町立美馬牛小学校

校長 **おん せん 泉** **さとし 敏**

早朝、木々から小鳥のさえずりが聞こえる春。四季折々に雄大な美しい姿を見せる大雪の山々。朝夕の太陽で色づく空。エゾリスが顔を、見せる秋冬。息をのむ景色が目の前に広がるここ美馬牛。

この地に三十五名の児童が、日々、笑顔満開で元気に過ごしています。

今年度「みんながステップアップ みんなでステップアップ」もつとよくなるう」を合言葉に様々な活動を進めてきました。そこで大切にしてきたことは「振り返り」です。活動の終末に次のステップアップになるよう個々に振り返りをし、個々に「学び」ができるようにしています。

今年度から学習内容も変わり、高学年は外国語科が行われました。道徳も「特別の教科」となりました。また、外国語の授業や体育の授業では、本校の職員以外にも町内の学校から専科教員に来ていただき、子どもたちの学習の定着を図るなど、子どもたちの成長に多くのの方々にかかわっていただきました。

今年度は研究会が本校で行われ、授業を公開しました。他校から多くの参加があり、教師としての資質向上を図ってきました。また、複式教育の講座もありました。さらには、北翔大学や教育大学からの実習生や、上海や台湾からの児童が来たりもしました。

本校は、地域を含めて多くの方と

関わりながら教育活動を進めています。例えば学校の学習園での栽培活動では、保護者に先生となってもらうています。JAの田植えや稲刈り体験にも参加させていただいています。

春と秋には環境整備を行い、多くの保護者と教職員と一緒に活動をしています。夏休み前にはPTA主催の「野外活動」を実施し、火起こし体験や保護者と一緒にフオークダンスを楽しみながら一泊しています。

各地区で行われるお祭りには、地域の皆さんが参加され賑わいを見せます。子どもたちの御輿に総勢九十名近くで歩く様子がみられます。また、お店を楽しみにする老若男女で境内はあふれます。今年の学芸会は、子どもたちの頑張りはもちろんですが、体育館いっぱい百五十名以上の方が子どもたちを応援してくださいました。

そして、ここは中学校と校区を一にする地区ですから、小中の義務教育九年間子どもたちを育てる意識があります。中学校卒業時にどんな姿になっているかを考え、小中学校と地域・保護者が連携を密にしていることが必要と考えています。

地域の学校として今後もしっかりと学校・家庭・地域の三者がしっかりと連携をすることも、お互いのお互いを発揮して、さらに充実した教育をめざしていきたいと思っております。

# 児童作品展



1年 岡 大河



1年 外山 駿斗



1年 菅野豊夢



1年 市川凜



1年 寺島聖翔



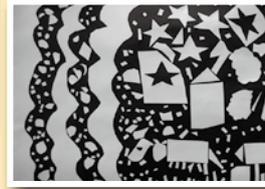
1年 小野寺胡春



1年 川村涼介



2年 江花美佑



2年 佐藤愛花



2年 菅野煌介



2年 斉藤瑠菜



2年 内藤仁月



3年 笠原朱音



3年 佐藤 碧



3年 市川葉琉



3年 菅野純夢



3年 柏倉琉希



3年 白田紗丞



4年 桑原桃瑚



4年 佐藤快斗



4年 寺島光輝



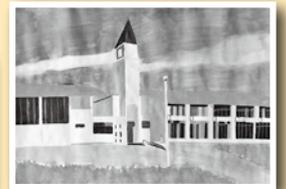
4年 小西朱琳



4年 小西侑里



4年 大西結愛



5年 小木田 晴哉



5年 川村有梨紗



5年 尾川 恵



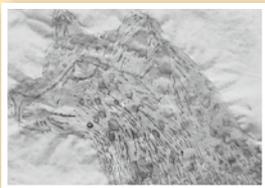
5年 高橋 隼弥



6年 横山高大



6年 佐藤琉輝



6年 寺島大翔



6年 川村玲衣奈



6年 村上由季



6年 白田紗那



6年 豊瀬大樹

# 意外と知らない？ 本当のだしの話

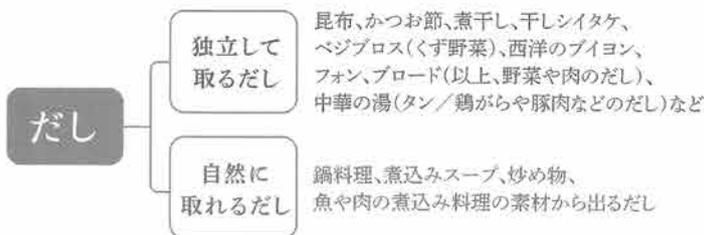


「だし」と聞いて思い浮かぶのは、かつお節や昆布のうま味。でも実はそれだけでなく、私たちが口にする食材はどれもそれぞれが独自のうま味をもたっています。料理をおいしくしてくれる「だし」って、そもそも何？

## うま味を液体に移したものが「だし」

和食ならかつおだしや昆布だし、煮干しだし。西洋料理ならブイヨンやフォン、中華では鶏がらや豚骨で取る湯(タン)……。料理のベースになるだしは世界各地にあります。これに調味料と具材を組み合わせることで、さまざまな料理が出来上がります。煮出す場合が多いのですが、水に浸しておくだけで味が出ることもあります。つまりだしとは、素材が持つうま味を液体に移した物と考えていいでしょう。こうしただしは「独立して取るだし」。一方「自然に取れるだし」もあります。鍋料理や煮物がおいしいのは、入れた具それぞれのうま味が汁の中で一体になるから。汁気のない野菜炒めも、液体である炒め油に各野菜のうま味が溶け出ています。

## 「だし」には2種類あります。



## あらゆる食材がだしになる

ほぼ全ての食材は、何らかのうま味を持っていきます。三大うま味成分の一つであるイノシン酸は魚介類や肉、グルタミン酸は野菜や海藻、きのこ、発酵食品、グアニル酸は干しシイタケやのりなどに多く含まれます。例えばトマトやタマネギも、スープに入れば立派なだし素材。グルタミン酸を多く含む日本茶も、茶葉のだしを味わっているといえます。

三つのうま味成分は、組み合わせることで何倍にもおいしさを増します。かつお節と昆布の合わせだしはよく知られていますが、「自然に取れるだし」でもその効果は絶大。トマトと魚、アサリを煮ればブイヨンなしでもうま味十分ですし、昆布+豚肉も相性抜群。八宝菜などは戻した干しシイタケを加えると味にぐんと深みが出ます。手近な食材を使って、あれこれ合わせ技を試してみるのも面白そうです。

## インスタントだしを使うなら

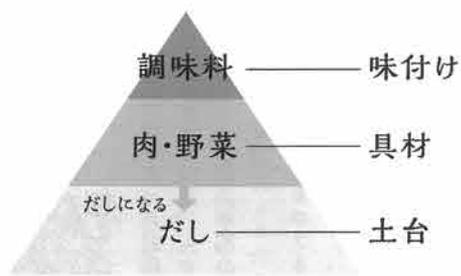
「独立して取るだし」では、今は多くの家庭で、便利な粉末だしやパックだしなどを使うようになりました。こ

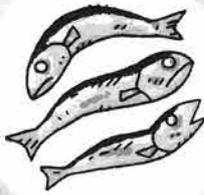
こで気を付けたいのがパッケージに表示されている原材料名です。

だし素材以外の材料が入っていれば、それは厳密には「だし」ではなく、だしに近づけた物と考えていいでしょう。また、商品によっては塩や粉末しょうゆで味付けしてある物もあります。作りたい料理に合わせて選び、調味する際は塩分の取り過ぎにならないよう注意してください。

時間のあるときにかつお節、昆布、煮干しなどでだしを取って、本来の味を覚えておくと、インスタントだしの風味の過不足も分かり、使いこなしも広がります。

## 「だし」「肉・野菜」「調味料」の関係





煮干し

小魚を煮て干したもので、カタクチイワシが主流。イリコとも呼ぶ。地域によってアゴ(トビウオ)、アジ、タイなどさまざまな煮干しがある。



昆布

ほとんどが北海道産で、古くから全国に広まっていた。だしは水出しもできる。かつお節や煮干し、干しシイタケとの相性も良い。



かつお節

関西や中部地方では荒節、関東では枯れ節が主流。厚削りの方が濃いだしが出る。サバ、ソウダガツオ、マグロ、ウルメイワシなどの削り節もある。



何でも「だし素材」

具材に使う食材も全てうま味成分を持っている。合わせ技でおいしさもアップ!



その他乾物

干しエビ、干し貝柱、いり豆、かんぴょう、切り干し大根、ベーコン、ドライトマトなども良いだしが出る上、具材としても使える。



干しシイタケ

精進料理に必須のだし素材。干すことで栄養素もうま味成分も飛躍的に増える。水出しもでき、だしを取った後は具材に使えるのも利点。

### 中華料理のだし

西洋料理が香りを重視するのに対して、中華料理は油を使った濃い料理に合う、コクとうま味があるだしが好まれます。鶏や豚を長時間煮出し、香り付けよりは臭みを消すために香味野菜や香辛料を加えた味の濃いだしが使われてきました。中華のだしは「湯(タン)」と呼ばれ、主に動物性のだし(ホウタン)と植物性のだし(スウタン)に分かれます。

### フランス料理のだし

煮込み料理には欠かせないフランス料理のだし。牛や鶏、魚などの動物性材料の他に、香味野菜は煮込むと肉や魚の好ましくない臭いを消すため、香り付けの役割もあります。フランス料理のだしは、ブイヨンとフォンの二つに大きく分かります。「ブイヨン」はポタージュやコンソメの土台で、「フォン」はソースや煮込み料理の土台になります。

### 注目が集まる だしソムリエとは?

だしソムリエ協会

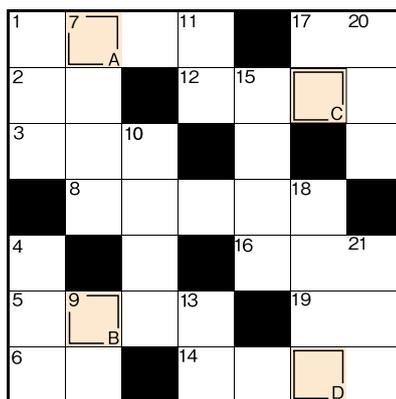
<https://dashi.be/>

だしを知り、料理や商品開発に生かすための民間資格が「だしソムリエ」。3級資格が取れる1日講座では家庭で役立つだしの基本を学びます。2級・1級講座では、各界のプロ講師の講座により深い知識を積んだ、だしの専門家を養成。動画学習サービス「Udemy」でのオンライン3級講座も今後スタート予定です。

## 頭の体操

# クロスワードパズル

二重マスの文字をA→Dの順に並べ  
 てできる言葉は何でしょうか?



### ▶横のカギ

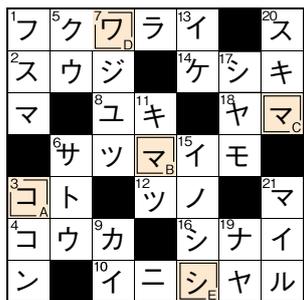
- ① 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- ② マージャンをするとき囲みます
- ③ 劇場の舞台や花道の地下にあります
- ④ 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- ⑤ 起立! ———! 着席!
- ⑥ バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- ⑦ 足利尊氏が開いた———幕府
- ⑧ 片時もそばを離れません
- ⑨ 漢字で書くと浮塵子。稲の害虫です
- ⑩ 地面につちなどで打ち込みます
- ⑪ カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

### ▼タテのカギ

- ① 佐々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- ② うわさが広がる際につくことも
- ③ 鉄道のレールの下に並べます
- ④ 人数を数えるときに使う言葉
- ⑤ パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- ⑥ 子羊の肉のこと
- ⑦ 3.14159...と続く円周———
- ⑧ 道端のこと。———駐車
- ⑨ 寝不足で目の下にできる人もいます
- ⑩ 小説家・尾崎紅葉の代表作「———夜叉」
- ⑪ ショートケーキによく合う赤い果実
- ⑫ マンションの———人さんにあいさつをして出掛けた

### ★こたえ・当選者

★先月号のこたえは『コママワシ』でした



☆当選者は

齊藤友香さん  
 佐藤淳子さん  
 鎌田順子さん  
 浦田望葵さん  
 高橋恵一さん

以上5名です。  
 おめでとーございます。

※応募の際にご記入いただいた個人情報は、賞品の抽選・発送に利用させていただきます。また、ご意見ご感想については、本誌編集の参考にさせていただきます。

正解者の中から抽選で5名の方に農協全国商品券1,000円分(全農)をプレゼントします。たくさんのご応募をお待ちしております!!

【応募方法】  
 ● ハガキ **注! ハガキは62円です**

おもて  
 ① クイズの答え  
 ② 今月号の良かった内容  
 ③ 取り上げて欲しい内容  
 ④ その他ご意見・ご感想など  
 ⑤ 住所氏名年齢電話番号

〒071-0298  
 美瑛町  
 中町2丁目6-32  
 JAびえい「丘の大地」  
 クイズ係

● F A X 0166-92-2977  
 ● Eメール kouhoushi@biei.ja-hokkaido.gr.jp  
 【締め切り・発表】  
 毎月20日(当日消印有効)、当選者は次号でお知らせします。

## 1月のあなたの運勢 監修/モナ・カサンドラ

<p><b>おひつじ座 (3/21~4/19)</b></p> <p>【全体運】できる人と比べ、落ち込みやすい傾向がチラリ。「人は人」と割り切って。リフレッシュするには神社散策が吉</p> <p>【健康運】食生活が乱れがち。特に暴飲暴食に注意</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 タラ</p>	<p><b>しし座 (7/23~8/22)</b></p> <p>【全体運】いつになく神経質になってしまいかも。深刻に受け止めやすいので、気楽に構えること。深呼吸でリラックスを</p> <p>【健康運】温活に力を入れると、順調に過ごせます</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 おから</p>	<p><b>いて座 (11/23~12/21)</b></p> <p>【全体運】プライベートの充実には力を入れると、満足感を得られます。興味を持っていた趣味や習い事を始めるのも正解</p> <p>【健康運】規則正しい生活を。特に早起きがグッド</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 キンメダイ</p>
<p><b>おうし座 (4/20~5/20)</b></p> <p>【全体運】前向きな気持ちになれる月です。やってみたいことがあるなら、積極的に取り組んでみて。新チャレンジも幸運</p> <p>【健康運】体を軽く動かすことで気力回復の兆し</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 伊予かん</p>	<p><b>おとめ座 (8/23~9/22)</b></p> <p>【全体運】レジャー運が盛り上がる予感。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごして。新年会などの幹事役は進んで引き受けて吉</p> <p>【健康運】無茶なダイエットは×。肩の力を抜いて</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 ワカサギ</p>	<p><b>やぎ座 (12/22~1/19)</b></p> <p>【全体運】自分に自信が生まれそう。大胆にリーダーシップを発揮しましょう。また、未経験の世界に飛び込むのも大賛成</p> <p>【健康運】評判の健康法が体質にぴったり合うかも</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 京菜</p>
<p><b>ふたご座 (5/21~6/21)</b></p> <p>【全体運】物事を邪推しやすく、不要なトラブルを招く原因に。余計な発言は控えるべき。開運には窓や鏡を磨くと効果大</p> <p>【健康運】ストレスを感じそう。十分な休息が大事</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 ナバナ</p>	<p><b>てんびん座 (9/23~10/23)</b></p> <p>【全体運】思い込みが激しくなる気配。特に伝言ミスをしやすいため、ご用心。また、慣れている作業でも確認を徹底して</p> <p>【健康運】なんとなく不調を感じがち。睡眠が必須</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 ホウレンソウ</p>	<p><b>みずがめ座 (1/20~2/18)</b></p> <p>【全体運】何かと迷いが生まれやすいもよう。一人で悩まず、信頼できる相手に相談してみてください。気晴らしには音楽鑑賞が最適</p> <p>【健康運】つい食べ過ぎてしまう気配。節制が必要</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 サワラ</p>
<p><b>かに座 (6/22~7/22)</b></p> <p>【全体運】勢いがある反面、不注意になりそう。小さな失敗にクヨクヨせず、サッと切り替えましょう。観劇が良い刺激に</p> <p>【健康運】運動を満喫して。心身共に良い影響が</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 長ネギ</p>	<p><b>さそり座 (10/24~11/22)</b></p> <p>【全体運】知的好奇心を大切にしたい時期。気になるジャンルについて情報収集を。話題の映画を見るのもうれしい発見あり</p> <p>【健康運】おおむね安泰。スポーツやダンスを楽しんで</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 ダイコン</p>	<p><b>うお座 (2/19~3/20)</b></p> <p>【全体運】今まで付き合ったことのないタイプと知り合える期間。飲み会には意欲的に参加して。趣味の集まりにも注目を</p> <p>【健康運】疲れやすい暗示。早めのケアを心掛けて</p> <p>【幸運を呼ぶ食べ物】 納豆</p>

# 今月の朝ご飯



朝ご飯の  
献立

## ●カブとシュンギク、リンゴのサラダ

茨城県笠間市にある「キッチン  
 晴人（ハレジン）」オーナーシェフ  
 永井 智一（ながい・ともかず）

## レシピ カブとシュンギク、リンゴのサラダ

### ●材料…1人分

- カブ…1個
- リンゴ…1/2個
- シュンギク…1本
- ベーコンブロック…100g
- バルサミコ酢…小さじ2
- パルメザンチーズ…適宜
- クルミ…適宜
- ドレッシング
- 米酢…大さじ2
- サラダ油…大さじ4
- オリーブ油…大さじ2
- 塩…小さじ1/2
- こしょう…少々
- すりおろしたマネギ…1/4個分
- マヨネーズ…小さじ2

### ●作り方

- ① ドレッシングの材料を合わせミキサーにかけておく。
- ② カブは半月切り、リンゴは一口大に、シュンギクは葉をちぎり（飾用に半分ほど残す）ボウルに入れ、出来上がったドレッシング大さじ3であえる。
- ③ ②を器に盛り付け、炒めたベーコン、残しておいたシュンギクをのせ、バルサミコ酢とパルメザンチーズ、クルミを掛けて出来上がり。お好みでベビーリーフ（材料外）を散らす。



家の光図書

# 今月の新刊

得する役立つ!



お申し込み  
お問い合わせは  
JA/営農部まで

## つまみでおかず 居酒屋気分で酒の肴

瀬尾幸子 著  
 ■ 1,296 円（税込）

自宅で居酒屋気分が味わえる、お酒が主役のおつまみ本。ベストセラー『おつまみ横丁』の著者による待望の新作レシピ。火を使わずにすぐできるものからボリューム満点のおかずにもなるおつまみまで、120品掲載。



## あまくないからおいしいお菓子 ギリギリの甘さで仕上げる 新しいおいしさ。

坂田阿希子 著  
 ■ 1,620 円（税込）

「お菓子は甘いもの」という常識を覆す、新感覚のお菓子レシピ。ギリギリの甘さで仕上げることで、素材の香りやコクが際立つ。甘いものが好きな人もそうでない人も、一度食べたらクセになる、大人のスイーツ。



## 相続で絶対モメない 遺産分割のコツ

言葉・空気・場の読みまちがいが命取り！  
 佐山和弘 著  
 ■ 1,512 円（税込）

相続が「争続」になるのは、人間関係のこじれが原因であることがほとんど。「遺産分割協議のモメない進め方のルール」を、1,000件を超える相談案件に立ち会ってきたプロが具体例を交えて詳しく解説する。



# JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBSITEをご覧ください。

## JA北海道中央会



次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道アグリフードプロジェクト・アカデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開催されました。

今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学ぶとともに先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営」を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。



## JA北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、(有)トッピーバーの嶋崎代表取締役「トッピーバー流の人材育成」を、志ネットワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの〜松下幸之助の人づくり〜」をテーマに講演頂きました。

参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「一人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きました。



## ホクレン



全道のホクレンSSで展開した「2018ラブ&ハートチャリティキャンペーン」に寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。当キャンペーンは、ホクレンの社会貢献活動「HOKUREN SEEDS PROJECT」の一環として実施しており、道内の児童保育施設約810箇所、絵本などの購入費用として使用いただく事となっております。



## JA共済連北海道



12月24日(月)から1月20日(日)まで、さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン×こども共済」の巨大壁面広告(全長14.5m)を掲出します(写真はイメージです)。一般のママ達が選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間をご覧ください！



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。



ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

## 農業者の皆さまへ 農業者年金のご案内

老後生活の備えは十分ですか？農業者年金は、国民年金の第1号被保険者（保険料納付免税者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。

※加入される方は、国民年金の付加年金（付加保険料月額400円）への加入も必要となります。

### 農業者年金のメリット

少子高齢化時代に強い積立方式の年金

公的年金ならではの税制上の優遇措置

終身年金で80歳までの保証付き

農業の担い手には手厚い政策支援

詳しくは窓口までお問い合わせください。

**窓口** 営農部 ☎68-7014

## JA Biei Information



## 営農研修会は 2月4日（月）

今年度の営農研修会は、水稻・畑作生産者の方を対象に2月4日（月）に開催します。詳細は後日、FAXおよび農協無線でご案内致します。多数のご出席をお願い致します。

◆開催日 平成31年2月4日（月）

◆場 所 JAびえい3階大ホール

**窓口** 営農部 ☎68-7014

## 1月のパソコン講習会について

### ◆日 程◆

種 類	月 日	時 間	内 容	講 師	場 所
ソリマチ簿記 (パソコン)	1月17日(木)	① 9:00～11:00 ② 13:00～15:00	・ソリマチ簿記の使い方や勘定科目の 設定など ・次年度更新の行い方 ・クミカンデータの転送の仕方	青申会	JAびえい 2階 PC研修室
	23日(水)				
	28日(月)				
	30日(水)				

### ◆持参するもの◆

自分のパソコンで講習を受けたい方⇒**本体を持参してください**

ソリマチ簿記を受講希望の方⇒

伝票入力の練習も行いたい場合は、今年のクミカン報告書と減価償却資産台帳を持参して下さい。

**窓口** 営農部 営農支援課 ☎68-7014

## 農業経営基盤強化準備金 制度の取り扱いについて

2018年度税制改正に伴い、農業経営基盤強化準備金制度の取り扱いが変更となります。

詳しくは、別紙折込をご覧ください。

また、ご不明な点がございましたら、下記窓口までご連絡ください。

(一財)美瑛町農業振興機構

☎ 92-2855

窓口

## 春の新車フェア

平成31年1月1日～3月31日までのご成約を対象に「4メーカー新車全車種対象特別企画(トヨタ・スズキ・スバル・三菱)」を開催中します!

### キャンペーン内容

乗用車新車ご購入でもれなくいずれかおひとつプレゼント!

A. ホクレン

SSポイント

30,000pt 進呈

B. ホクレン選べる  
カタログギフト

C. 農協観光旅行券  
30,000円分



軽トラックを新車でご成約の方は  
スタッドレスタイヤ4本(ホイール付き)  
プレゼント!

さらに、乗用車新車または軽トラック新車を  
ご成約の方に  
ホクレンエンジンオイルプレゼント!

詳しくは、下記までお問い合わせください。

窓口

北町給油所 ☎ 92-2157

## 平成31年度

## 免税軽油・農業労災保険の 受付を致します

農業機械課では、平成31年度免税軽油申請と、  
農業労災加入手続きを行いますので、お早めの手  
続きをお願い致します。

### ■申請手続き

#### 免軽必要事項

印鑑、標識交付証明書(トラクター等入替増車  
の方)

#### 労災必要事項

平成30年度分使用労働者数及び支払賃金、  
平成31年度支払予定賃金

#### 受付期間

1月9日(水)～1月18日(金)

受付時間 午前9時から午後4時まで

受付場所 研修センター会議室

※近年、免税軽油の不正利用防止のため、使用者  
への調査が強化されております。

免税軽油使用者証に未記載の機械への使用等、  
不正使用が発覚した場合は、  
罰則(免税証の不交付や過去3年に遡り返納等)  
が生じますのでご注意ください。

※毎年、多くの農作業事故が発生しております。  
未加入の方はこの機会にぜひ農業労災に加入し  
ましょう。



窓口

研修センター ☎ 92-0588

## 年始のJA業務時間のご案内

		1月1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)	7日(月)	8日(火)	
金融店舗窓口		休業			9:00~16:00	休業		9:00~16:00		
ATM	金融店舗	休業			8:45~17:00	休業		8:45~17:00		
	ホクレン ショップ玄関	休業			9:00~18:00	9:00~17:00		9:00~18:00		
給油所	北町	休業			8:00~17:00			8:00~19:00		
	大町セルフ	6:00~21:00								
上記以外の部門		休業						営業日 8:30~16:00	8:30~17:00	

### 年始休業中の緊急対応

JA業務につきまして、緊急な業務対応は次の通り実施いたしますのでお知らせします。

項目	連絡先
JA共済事故受付センター	<b>0120-258-931</b>
灯油・プロパン	<b>92-2157</b>

**窓口** 総務部 ☎ 92-2111

### 新年特集号 表紙の写真



**ご協力  
ありがとうございます  
ございます**

本誌 2019 年新年特集号の表紙に登場して頂いたのは、「美沢へき地保育所」の園児の皆さん 10 名です。当日は寒い日でしたが、全員参加で元気いっぱいな姿を見せてくれました。元気で良い笑顔をした子ばかりで、撮影も楽しくできました。今年の干支の猪（いのしし）の絵が可愛らしいですね。ご協力ありがとうございました！

## 新生活応援キャンペーン

平成 31 年 1 月 1 日～ 3 月 20 日までの期間に、新車・中古車をご成約頂いた学生の皆様に、素敵なプレゼントを進呈します。

### キャンペーン内容

●平成 31 年 3 月卒業予定の学生の方を対象に、新車・中古車のご購入で、「ライオントップスーパーナノックスギフトセット」や「バラエティ調味料セット」などの中からもれなく素敵なプレゼントを進呈いたします！



詳しくは、下記までお問い合わせください。

**窓口** 北町給油所 ☎ 92-2157

